

平成25年度 食育に関する健康福祉分野の主要事業について

千葉県健康福祉部健康づくり支援課

【ライフステージに応じた食育の推進】

○ 学童期からの生活習慣病予防事業

【目的】学童期の子ども達へ適切な生活習慣の実践を図り、普及啓発に努めるとともに、子どもへの影響が大きい保護者等へも、併せて生活習慣改善を推進するため企業、保健センター等と連携し、『しっかり運動、早ね・早おき・朝ごはん』をスローガンとした普及啓発を推進する。

【事業内容】

[平成23年度～]

- ≡平成20～22年度の3年間で実施したモデル事業で得られた結果(別添1)の普及≡
- ・正しい生活習慣の重要性と、それを実践するためのポイントについて普及啓発を行うDVDの作成。
 - ・市町村等に対する普及啓発として、啓発リーフレットの配付、各市町村の保健衛生担当者、教育関係者を対象とする研修会でのPR 等

[平成25年度]『カンタン!! 野菜たっぷり!! ヘルシー料理コンテスト』の開催(別添2)

○ 高齢者食生活応援事業【モデル事業：千葉市】

【目的】元気高齢者に対しバランスのよい献立の提供や訪問栄養指導等による食生活支援を実施し、低栄養の予防を図り、「食事」の面から高齢になっても元気で生き生きと暮らせる地域での仕組み作りを目指す。

【対象】原則65歳以上で、要介護・要支援状態に移行していない高齢者。

【事業内容】独居高齢者や高齢者世帯等に対して、手軽に実践できるバランスの良い季節のレシピ集『元気幸齢者レシピ集』を提供し、望ましい食生活を実践するために、食生活改善推進員による料理体験教室や出前食生活相談を行い、献立内容、調理の仕方などをアドバイスする。

○ 健康ちば協力店推進事業(別添3)

【目的】食生活と関連の深い生活習慣病が増加しており、個人が食生活の管理を行うために飲食店等における外食料理に関する栄養成分表示やバランスのとれたメニューの提供をすることによって、食環境の整備を図ることを目的とする。

【事業内容】(1) 県民への普及・啓発

- ・県ホームページによる普及・啓発(健康づくり支援課)
- ・健康福祉センターにおける普及・啓発

(2) 登録店舗に対する支援等

- ・利用者(県民)への「栄養・健康情報の提供」

※ 登録店舗数 1,037店舗 (平成25年12月末 現在)